

令和2年11月5日

受験者の方へ

島根県立大学松江キャンパス
アドミッション委員長
藤原 映久

令和3年度人間文化学部編入学試験（保育教育学科）における出題ミスについて

令和2年10月24日（土）13:00～14:00に実施した人間文化学部編入学試験（保育教育学科）の「専門科目」の試験問題について下記のとおり出題ミスがあり、当該設問について受験者に対しては、正解として採点する措置をとることとしました。なおこのことによる合否判定への影響はありません。

受験者の方にはご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後は入試業務全体のチェック体制をより一層強化し、再発防止に万全を期する所存ですのでご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 出題ミスの内容

【問題の抜粋】

問11. 以下の文章は、オペラント条件付けに関する記述である。文章が正しくなるように、空欄に入る適切な語句を以下の【語群】ア～コからそれぞれ一つ選び、解答欄に記入せよ。（各1点×5）

動物が自発的に環境に働きかけるオペラント行動は、行動とその直後の状況変化との関係から理解できる。エサやお金、賞賛などの（ 1 ）のように、呈示により将来同じ場面での行動の回数を増やすものを（ 2 ）という。逆に、電気ショック、罰金、此責などの嫌悪刺激のように、行動の回数を減らすものを（ 3 ）という。行動の回数を増やす手続きを（ 4 ）といい、減らす手続きを（ 5 ）という。

〈内容〉問題文3行目末尾、「…、此責などの…」は、「…、叱責などの…」の誤りであった。

2. 本学の対応

当該設問について受験者に対しては、正解として採点します。

■この件に関するお問い合わせ先

島根県立大学松江キャンパス 教務学生課

TEL: 0852-20-0236 FAX: 0852-21-8150